

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1592500126		
法人名	社会福祉法人 真心福祉会		
事業所名	グループホーム まごころ (2ユニット共通)		
所在地	新潟県胎内市大出730番地1		
自己評価作成日	令和5年9月10日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&jiyosyoCd=1592500126-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	令和5年10月31日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・令和2年5月1日に開設しました。併設している特養まごころの里きのとの入所者や職員と交流ができ、毎年合同で行事を行っています。また、管理栄養士より食中毒の研修を受けたり、食事についても色々相談に乗っていただける環境となっています。
 ・今年4月より看護職員が入職致しました。今でも特養の看護職員とも連携を図って正確に業務を遂行できる体制になっています。
 ・コロナ禍の中でも工夫して、電話などで入所者の様子などを度々報告したり、来所された時にタブレットをご覧いただくなどして家族とのコミュニケーションを大切にしています。
 ・毎日のレクリエーションや作業にも力を入れ、月に1回はドライブに出かけたり、おやつを職員と一緒に作るなどしています。
 ・今年の夏祭りでは、地元の子供たちのお神輿や獅子舞など披露していただきました。ボランティアさんの受け入れも再開し、利用者にとっても喜ばれています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○「笑顔あふれる毎日」は利用者・家族・地域を繋ぐ
 開設して3年、コロナ感染が流行し地域との交流ができない状況の中、職員と一緒に考えた施設理念「まごころこめたおもてなしで笑顔あふれる毎日」は、全職員のモチベーションとなり、利用者・家族とのコミュニケーションを育んでいる。コロナウイルス感染症が5類移行し、法人として感染状況の対応方法をフェーズごとに示し、家族に書面にて配布し、面会や外泊を再開している。地域との交流も再開され、コーラスボランティア来訪や地域の夏祭りでは、施設の駐車場で子どもたちの御神輿や獅子舞が披露された。また、新たに移動スーパー立ち寄り場所となり、利用者や地域の方々の買い物や交流の場としての拠点ともなっている。自治会の回覧板を通し、地域の情報を得て、毎月発行の広報誌にて利用者の様子を沢山の写真にて取り組みを紹介している。コーラスボランティアのお知らせ等を記載し地域へも発信している。事業所が地域で役割を発揮する関係作りは、日々の利用者・家族との支援の延長上にあり、それぞれの場で人との繋がりを大切に「笑顔あふれる毎日」で地域での暮らしづくりを目指している。

○他サービスと行政と連携が図れた取り組み

特別養護老人ホームと連携しながらサービス運営が図れている。イベントの際には合同で実施するなど、利用者が事業所間を自由に入出りできるように職員間でも利用者の共有を図っている。互いのスペースに来て安心して利用者の方は過ごしやすくなり行き来することができ、更に友達ができて特別養護老人ホームへ会いに行く方など、交流する取り組みが行われている。行政とはサービス運営のことや災害について連携が図れており、行政からも積極的に事業所に関わる取り組みが行われている。運営推進会議に行政が参加し意見を言ってくれるなど積極的な関わりが窺える。また事業所も法令基準のことについて分からない事は市の窓口を確認し、市と連携を図っている。今年は市の介護相談員が2回事業所に来て相談だけでなく、運営の調査確認で訪問されている。その際に得た事を市に挙げてくれている。また水害で事業所の駐車場が水浸しになった際、今後同じことに繋がることがないように、市と相談し水害の危険がある際は安全な場所に駐車できる場所を確保してもらうなど安全な運営に繋がる連携が図れている。